

小田急グループ 個人投資家さま向け会社説明会

2025年8月

執行役員 財務部長 兼 I R 室長
山本 武史

証券コード：9007

思う 誰かを 今日も



小田急電鉄株式会社

執行役員 財務部長 兼 IR室長 山本 武史（やまもと たけし）

- 1971年生まれ
- 1993年 当社入社（経理部）
- 2017年 小田急不動産 取締役 経営企画本部長 兼 経営企画部長
- 2020年 当社 事業企画部長
- 2021年 当社 グループ経営部長
- 2023年 当社 執行役員 経営戦略部長
- 2025年 当社 執行役員 財務部長 兼 IR室長



アメリカへの視察時に立ち寄った
サンフランシスコ・ジャイアンツの本拠地
現 Oracle Park

交通業		不動産業		生活サービス業	
鉄道業		不動産分譲業		百貨店業	
バス業		不動産賃貸業		ストア・小売業	
その他		その他		ホテル業	
				レストラン・飲食業	
				その他	

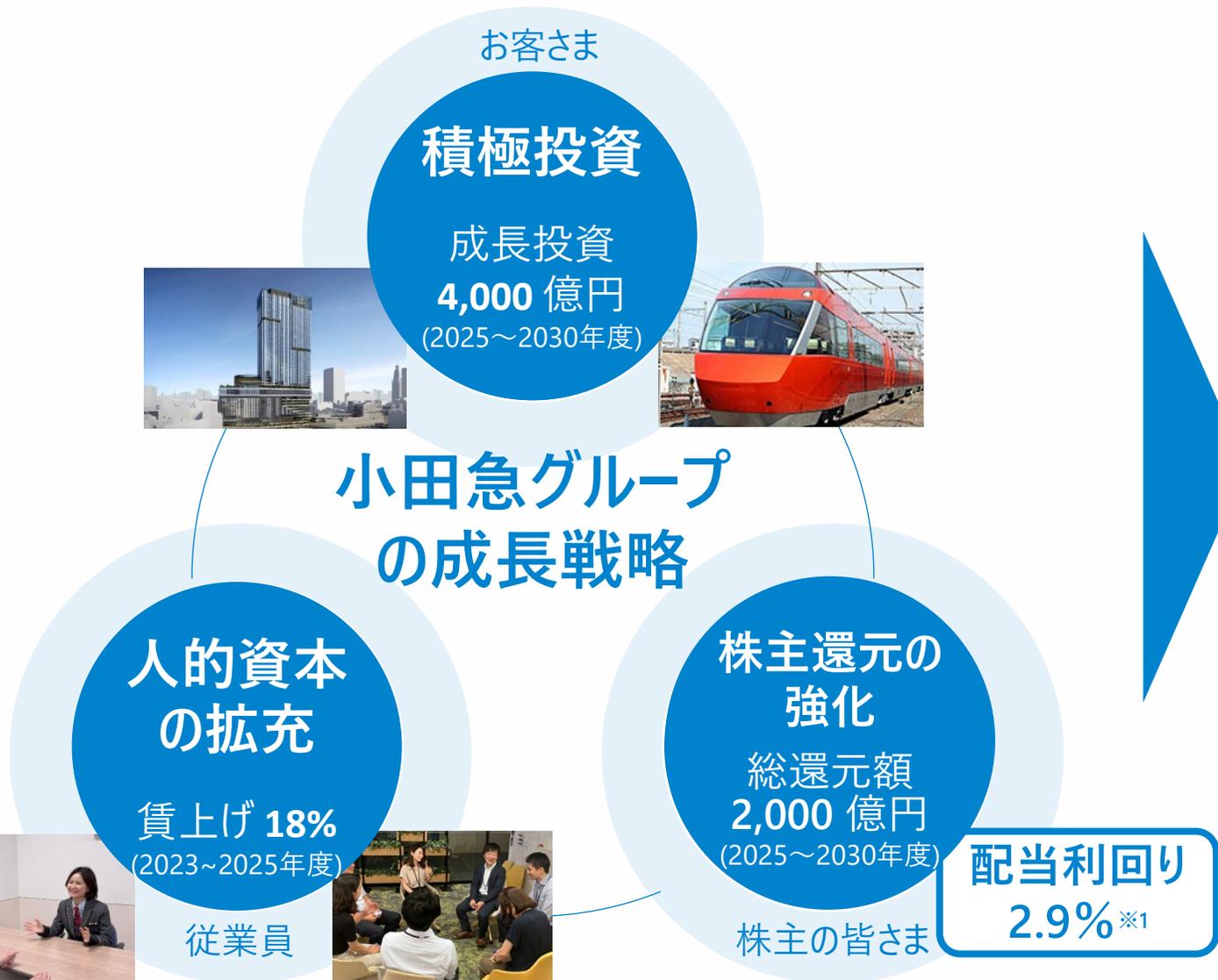
連結子会社：29社, 持分法適用会社：1社 (2024年12月31日時点)

小田急グループは、鉄道の他にも、バス・タクシー等の交通業や、分譲や賃貸等の不動産業、食品スーパー、ホテルなど多角的な事業を展開しています。

(説明会当日は、当社社長 鈴木による会社説明動画を再生)



■ 企業価値向上に向けた小田急グループの成長ストーリー



2030年度 連結財務目標	
資本コストや株価を意識した経営	ROE*2 10% 以上
利益の成長	営業利益 800 億円
財務健全性の確保	有利子負債/EBITDA倍率 7 倍台でコントロール

*1 2025年8月15日時点 (2025年7月 東証プライム有配会社平均利回り：2.5%)

*2 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本 (有価証券評価差額除く)

I	小田急グループの概要
II	成長戦略
	①積極投資
	②人的資本の拡充
III	個人投資家の皆さまへ
	①株主還元強化
	②株主優待制度

I	小田急グループの概要
II	成長戦略
	①積極投資
	②人的資本の拡充
III	個人投資家の皆さまへ
	①株主還元強化
	②株主優待制度

I. 小田急グループの概要（経営理念）

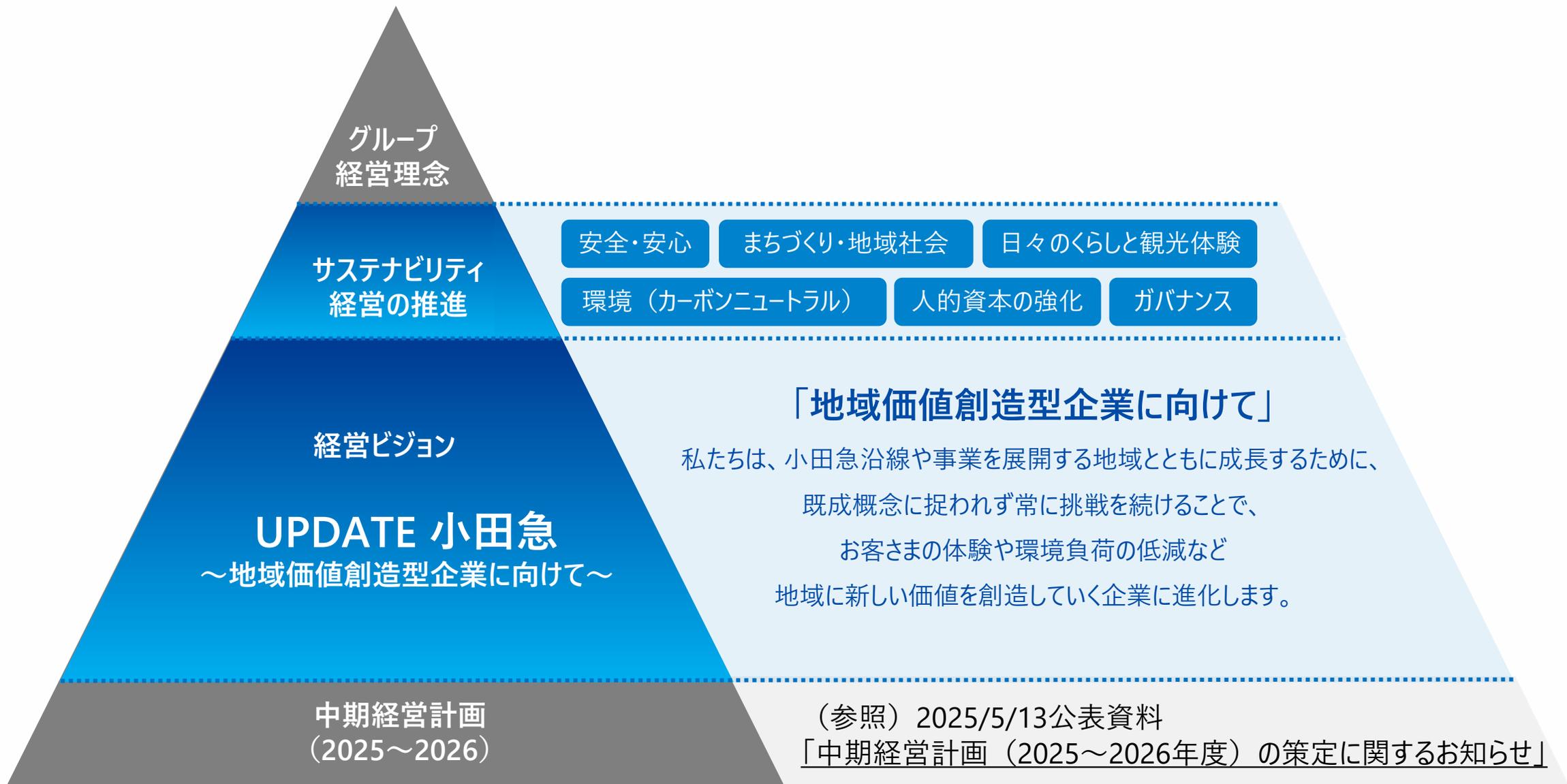
証券コード：9007

思う 誰かを 今でも
odakyu



とき
小田急グループは、お客さまの「かけがえのない時間」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献します。





I.小田急グループの概要（会社概要）

証券コード：9007



会社名	小田急電鉄株式会社
設立	1923年5月1日（前身の小田原急行鉄道の設立） 1927年4月1日（新宿～小田原間開業）
事業内容（連結）	交通業・不動産業・生活サービス業
グループ会社	連結子会社：29社 持分法適用会社：1社
従業員数	連結：11,517人 うち当社：3,682人
資本金	603億円
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 【証券コード：9007】

株価・時価総額	1,709円・6,297億円（2025年8月15日時点）
発行済株式	368,497,717株（単元株式：100株）



I.小田急グループの概要（主な事業エリア）

証券コード：9007

丹沢・大山エリア



箱根エリア



新宿エリア



湘南エリア



I. 小田急グループの概要（セグメント別）

証券コード：9007

■ セグメントおよび主な会社（連結子会社：29社、持分法適用会社：1社）

交通業

鉄道業

バス業

その他



小田急電鉄



江ノ島電鉄



小田急バス

不動産業

分譲業

賃貸業

その他



小田急不動産



小田急SC
ディベロップメント



小田急ビルサービス

生活
サービス業

百貨店業

ストア・小売業

ホテル業

レストラン飲食業

その他



小田急商事
(ストア・小売)



小田急リゾート
(ホテル)

※ 2024年度期首よりセグメントを変更しました（名称含む）

詳細(2025年3月期決算に関するFAQ) ▶ https://www.odakyu.jp/ir/financial/eels40000000cg2-att/24.4Q_FAQ.pdf

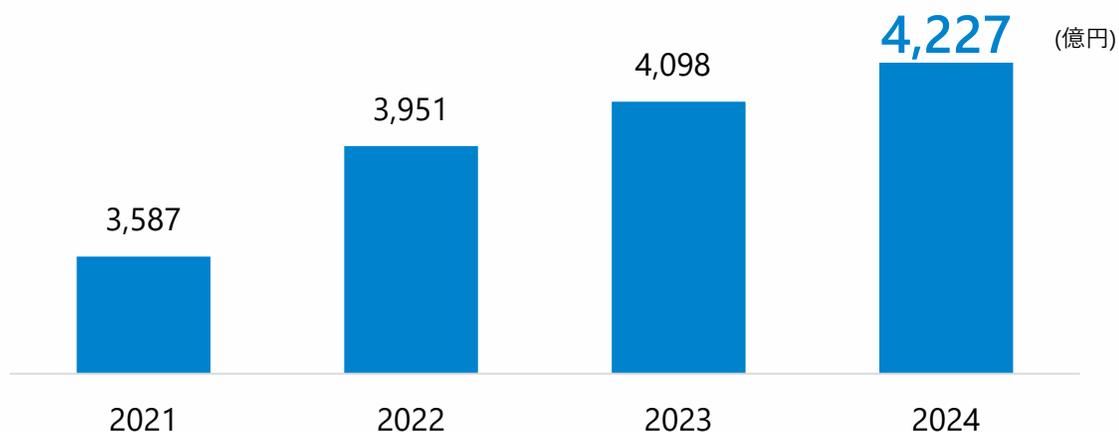
I. 小田急グループの概要 (業績)

証券コード：9007

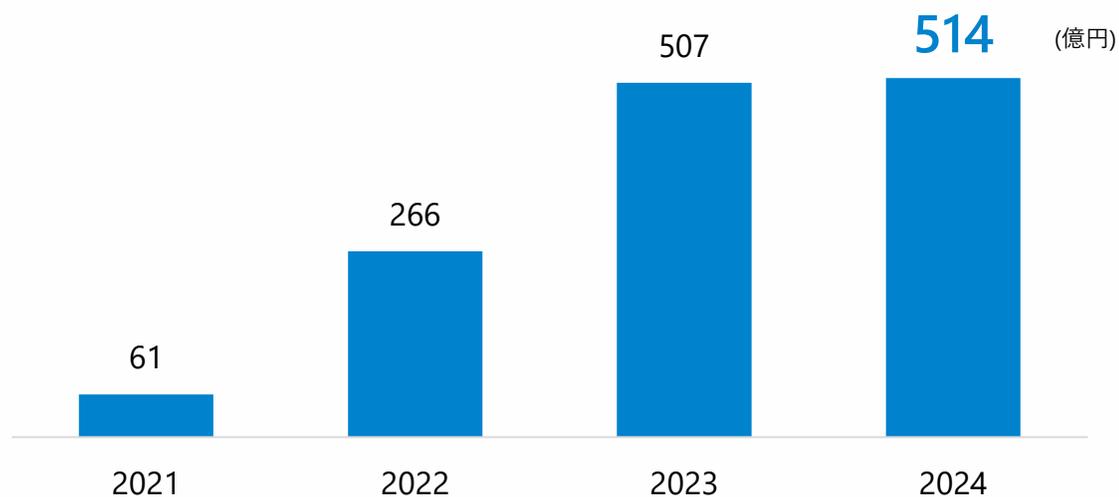


■ 連結業績の推移

営業収益

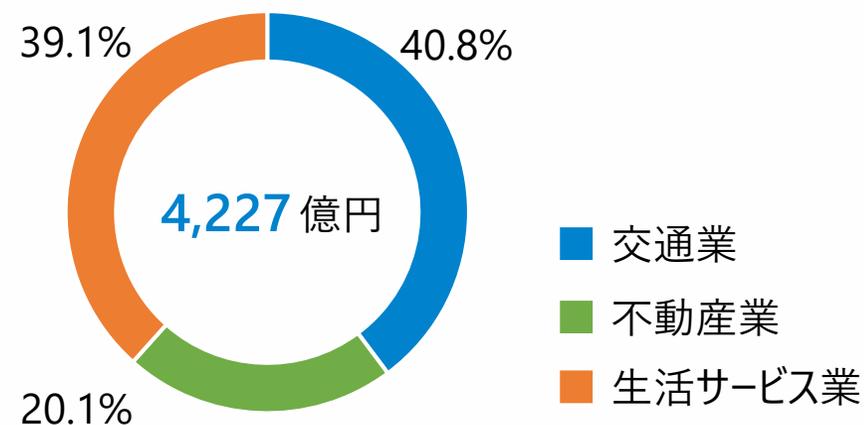


営業利益

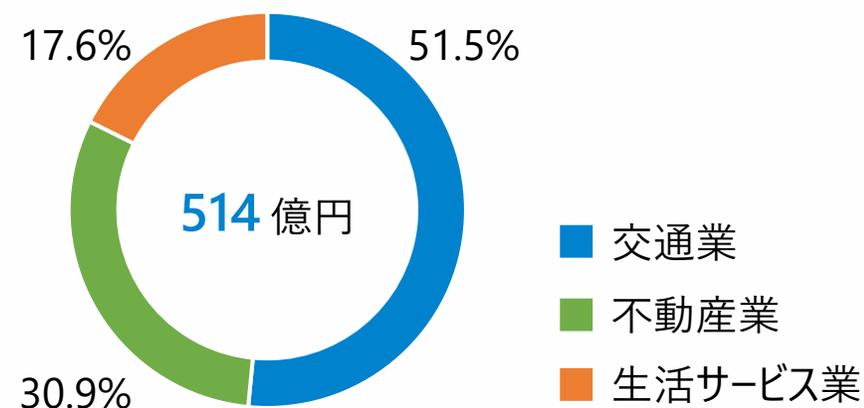


■ 2024年度 セグメント別連結業績

営業収益



営業利益



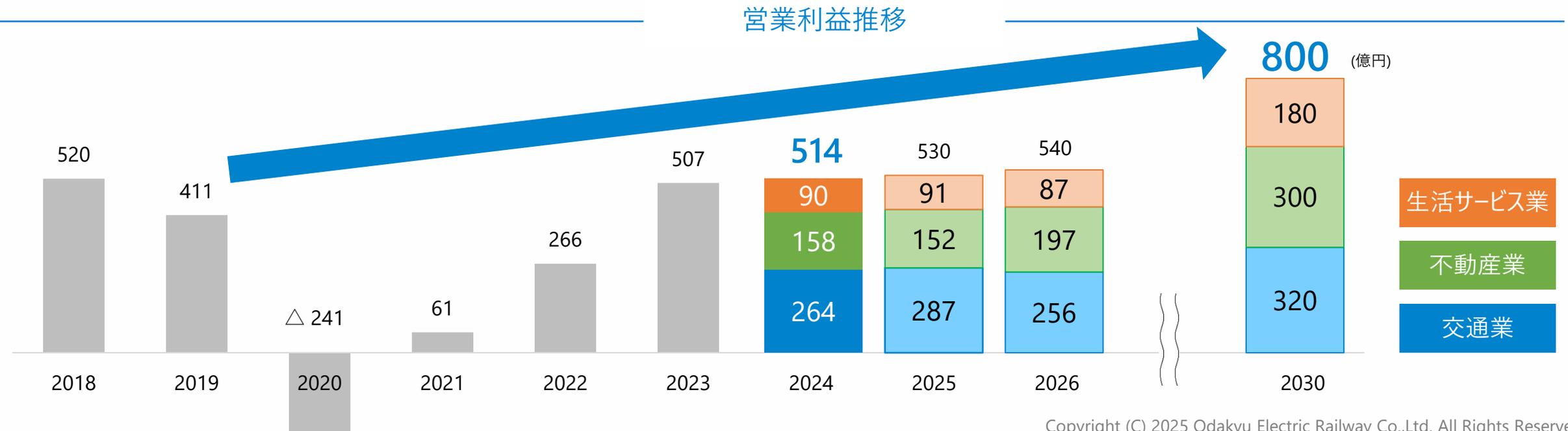
I	小田急グループの概要
II	成長戦略
	①積極投資
	②人的資本の拡充
III	個人投資家の皆さまへ
	①株主還元強化
	②株主優待制度

II.成長戦略（連結財務目標）

証券コード：9007



重要指標		2026年度計画	2030年度目標
資本コストや株価を意識した経営	ROE	8.0 %	10 %以上
利益の成長	営業利益	540 億円	800 億円
財務健全性の確保	有利子負債／EBITDA倍率	7 倍台でコントロール	



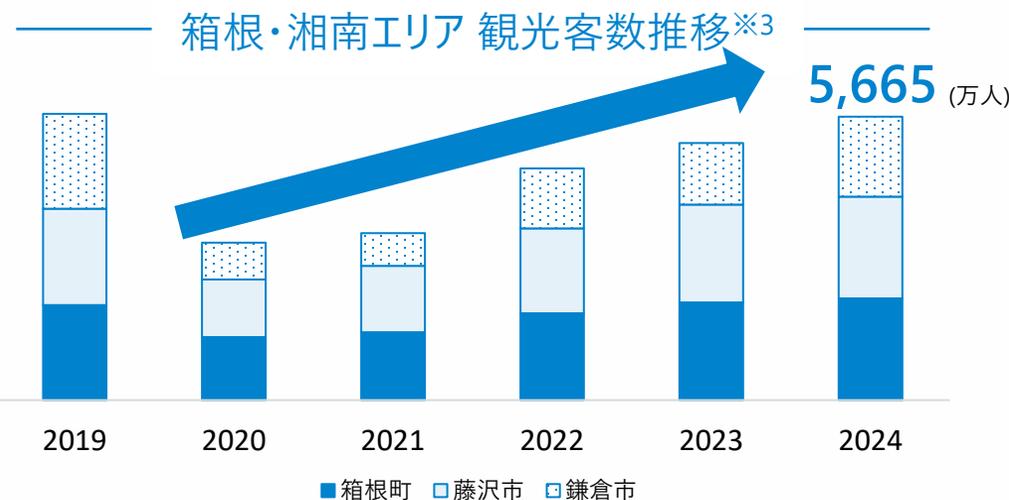
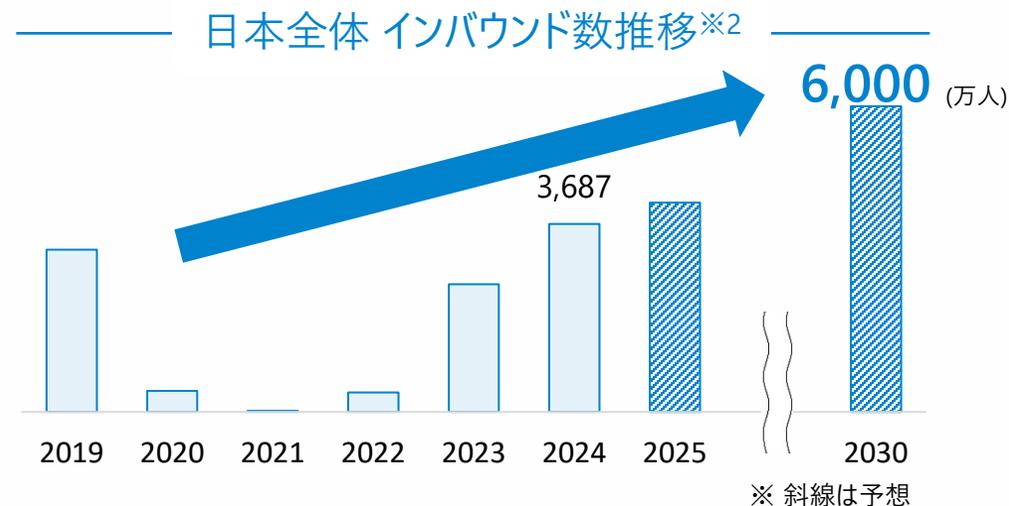
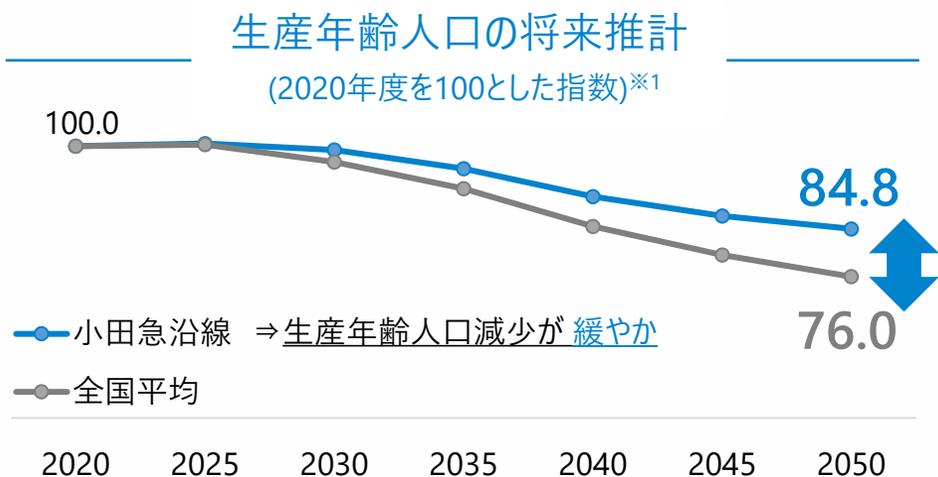
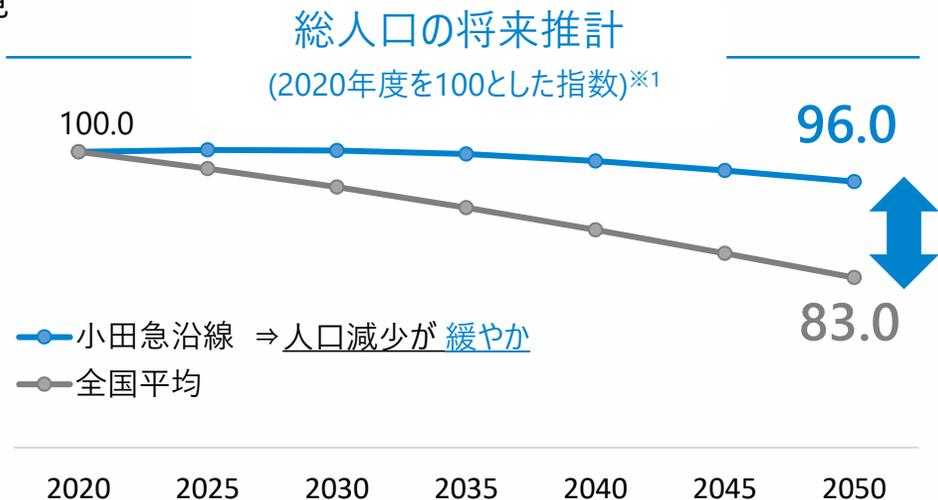
II.成長戦略（小田急グループのポテンシャル）

証券コード：9007



- 豊富な沿線人口と増大する観光需要を着実に取り込む

外部環境



沿線人口

観光需要

※1 国立社会保障・人口問題研究所データを基に当社で作成

※2 日本政府観光局「訪日外客数」より

※3 箱根町「入込観光客数」・神奈川県「神奈川県市町村別観光客数」より

II.成長戦略（小田急グループの3つの強み）

証券コード：9007

- 高いポテンシャルを最大限に生かすため、3つの強みを武器に多くの成長施策を強力に推進

豊かな
沿線

新宿・箱根・湘南等の観光拠点



豊富な
事業ノウハウ

交通インフラ・沿線まちづくり



多様な
人財の活躍

価値創造型人財の育成



I	小田急グループの概要
II	成長戦略
	①積極投資
	②人的資本の拡充
III	個人投資家の皆さまへ
	①株主還元強化
	②株主優待制度

II.成長戦略 (①積極投資 ~観光~)

証券コード：9007



成長投資額
(2025~2030年度)

600 億円 (うちホテル) 360 億円

2030年度
営業利益目標

2024年度 89 億円 → 150 億円

2024年度 (うちインバウンド) 36 億円 → 60 億円
(うちホテル) 24 億円 → 50 億円



2025年4月開業

大涌谷駅
ちきゅうの谷



2025年12月開業

RETONA HAKONE
(旧 箱根レイクホテル)



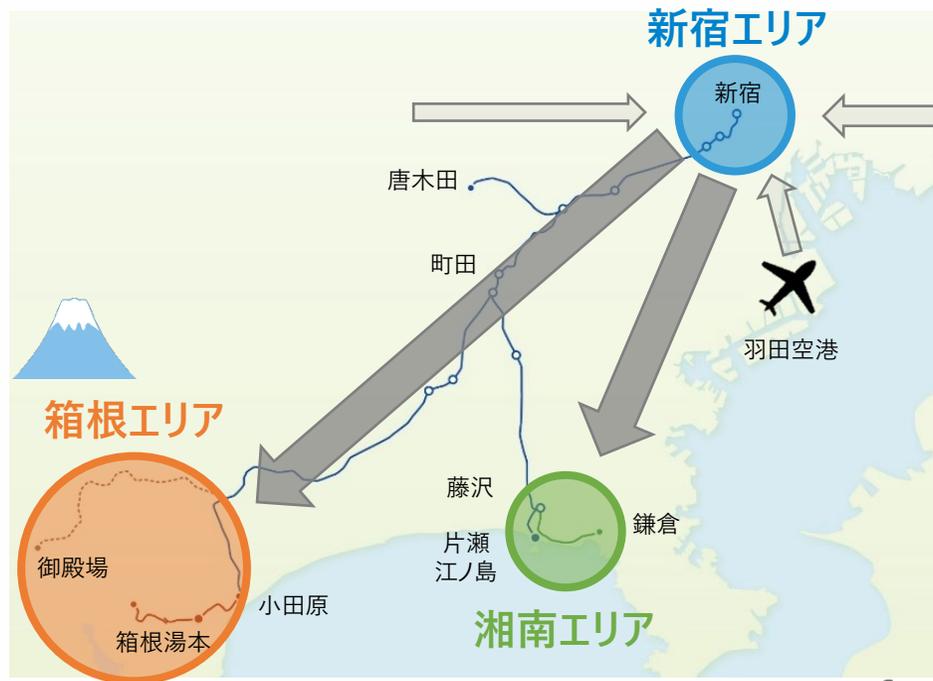
2027年度開業

箱根
ハイランドホテル
(リニューアル)



2028年度就役

新型
ロマンスカー



2029年度竣工

新宿駅西口地区
開発計画



2028年度開業

小田急ホテルセンチュリー
サザンタワー
(リニューアル)



2026年度導入

江ノ電 新型車両
「700形」



II.成長戦略 (①積極投資 ~不動産~)

証券コード：9007



成長投資額
(2025~2030年度)

2,600 億円

2030年度
営業利益目標

2024年度
158 億円



300 億円

住宅分譲



リーフィアタワー海老名



パークタワー向ヶ丘遊園

回転型投資

賃貸レジデンス、オフィス、物流施設を中心とする
収益不動産を開発し、投資家に売却する



(仮称) 小田急不動産ロジスティクスセンター
鳴尾浜コールドストレージ



物流施設 (厚木)

開発・リニューアルと既存物件の収益性向上

駅直結の商業施設やオフィスビル等の開発・リニューアル
および物件の入れ替えを行う



成城コルティ (成城学園前)

海外不動産

賃貸アセット取得や賃貸集合住宅
開発等を行う



オフィス・商業複合施設 (シドニー)

国内SPC

オフィス、物流施設等の収益不動産に出資し、
不動産価値の向上分を原資とした配当収入を得る

II.成長戦略 (①積極投資 ~新宿駅西口地区開発計画~)

証券コード：9007



- 商業・エンタメ・オフィス等が集積する新宿エリアに1,300億円（当社）を投じ、2029年度の竣工を目指す



(上) 西側から見たA区イメージ (下) 甲州街道側から見たB区イメージ



1日平均乗降客数
世界 **No.1**

インバウンド数^{※1}
都内 **No.2**

商業集積^{※2}
国内 **No.3**

※1 東京都産業労働局「令和 6年 国・地域別外国人旅行者 行動特性調査結果」
 ※2 経済センサス「活動調査（令和3年）」

II.成長戦略 (①積極投資 ~新宿駅西口地区開発計画~)

証券コード：9007

頂部 (47~48階)

オフィス (14~46階)



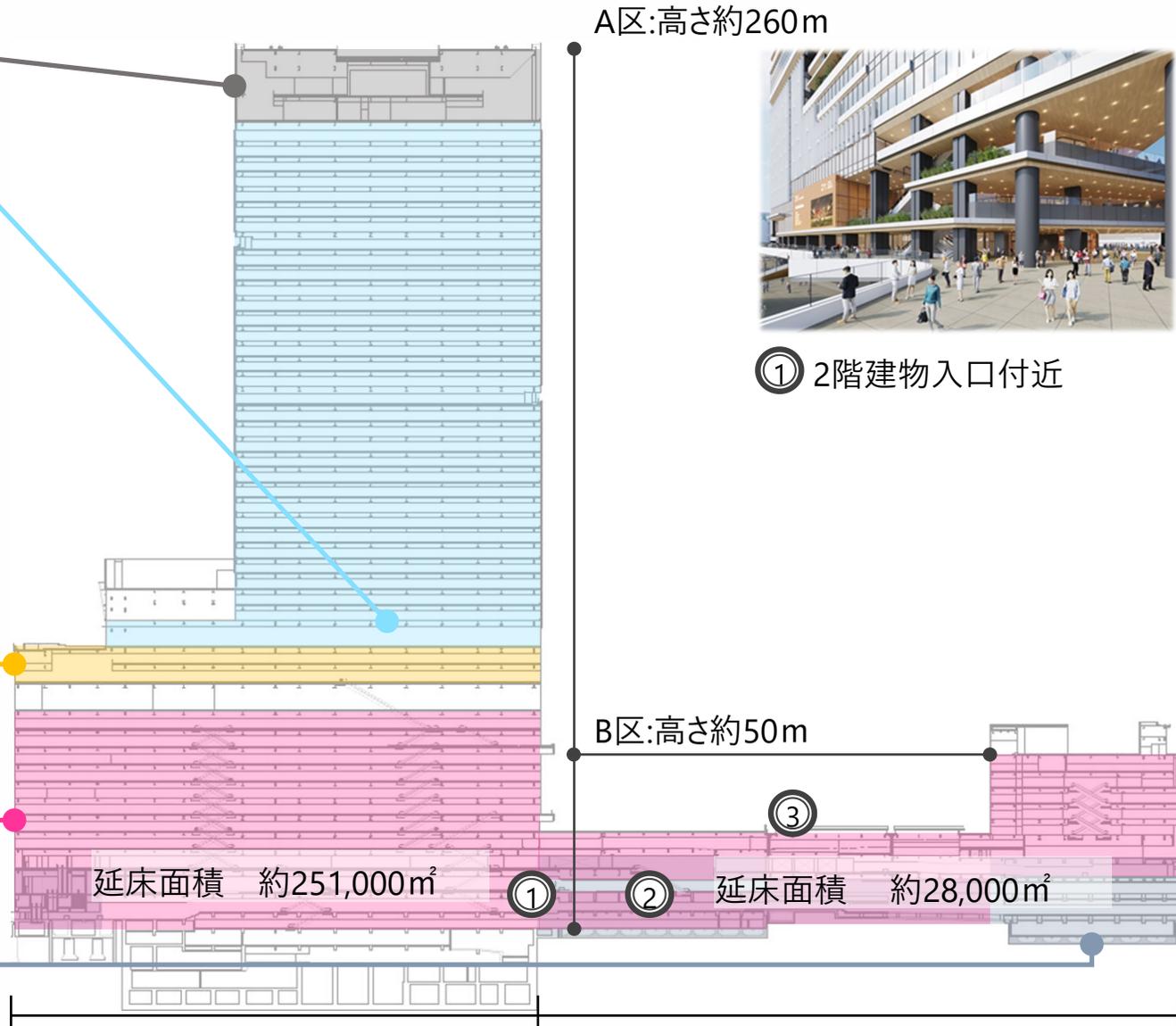
オフィスロビー階

ビジネス創発 (12~13階)

商業 (地下2階~10階)

鉄道 (地下2階~2階)

※各パースは現時点のイメージ



A区：共同事業
(当社・東京メトロ・東急不動産)

B区：当社単独事業

Copyright (C) 2025 Odakyu Electric Railway Co.,Ltd. All Rights Reserved.



① 2階建物入口付近



② 地上ホーム階



③ テラス部 (2階広場)



③ テラス部 (3階広場)

II.成長戦略 (①積極投資 ~交通~)

証券コード：9007



成長投資額
(2025~2030年度)

840 億円

2030年度
営業利益目標

2024年度
264 億円



320 億円

新型車両の導入・既存車両のリニューアル



GSE以来の新型ロマンスカー
2028年度就役予定



通勤車両の新造・リニューアル

駅施設のリニューアル



藤沢駅
(2027年度 第1期工事完成予定)

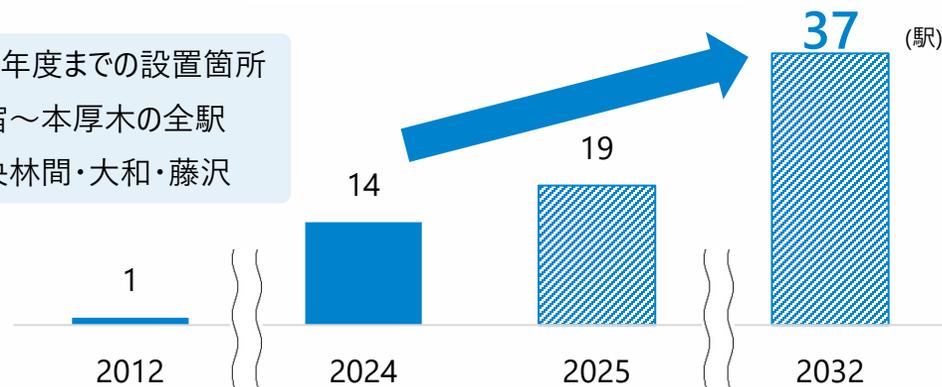


鶴川駅
(2027年度 使用開始予定)

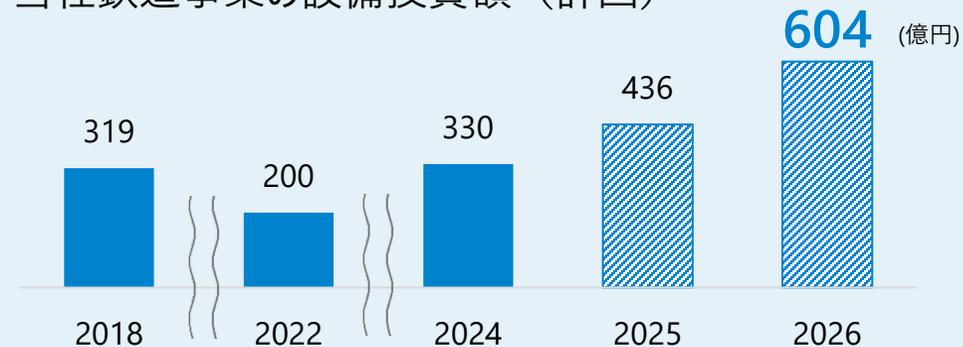
ホームドア整備計画

2032年度までの設置箇所

- ・新宿～本厚木の全駅
- ・中央林間・大和・藤沢



当社鉄道事業の設備投資額 (計画)



適切な時期での **運賃改定** を目指す

I	小田急グループの概要
II	成長戦略
	①積極投資
	②人的資本の拡充
III	個人投資家の皆さまへ
	①株主還元強化
	②株主優待制度

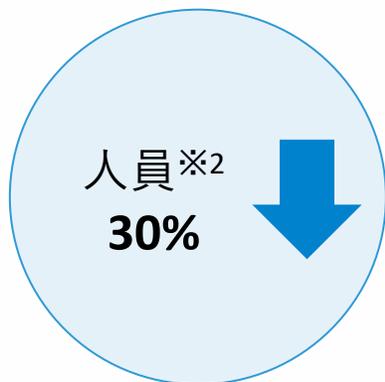
II.成長戦略（②人的資本の拡充）

証券コード：9007



労働人口の減少を見据えた
構造改革の推進および人財確保

私鉄業界トップを目指す労働生産性と人財投資



※1 当社1人当たり2025年度実績（2023年度比）
※2 2035年度当社鉄道事業（2020年度比）

成長領域への重点的な人的投資

有資格者の育成や外部からの専門人財・即戦力の採用

次世代経営人財の計画的育成

モデルキャリアパスの策定やモデルに基づく若手社員の登用

※3 従業員エンゲージメントサーベイ「ハタラクカルテ」（株式会社OKAN）において、「現在の職場で働くことを知人や取引先の人にとどの程度おすすめできるか？（0～10の11段階で評価）」の結果平均
※4 「ハタラクカルテ」に回答した企業の平均得点

働きやすさ・働きがいの向上

働きやすさ・働きがいを向上させ、多様な人財の活用を推進



<職場推奨度※3>



現業職場でのキャリア対話の様子

■ 今後の方向性

従業員エンゲージメント
の向上

労働生産性の向上

事業成長の源泉となる好循環

I	小田急グループの概要
II	成長戦略
	①積極投資
	②人的資本の拡充
III	個人投資家の皆さまへ
	①株主還元強化
	②株主優待制度

III.個人投資家の皆さまへ (①株主還元強化)

証券コード：9007



- 2025～2030年度累計 **2,000億円** の株主還元を実施
- 2030年度までに自己資本比率を30%に圧縮 (2024年度末 36.8%)

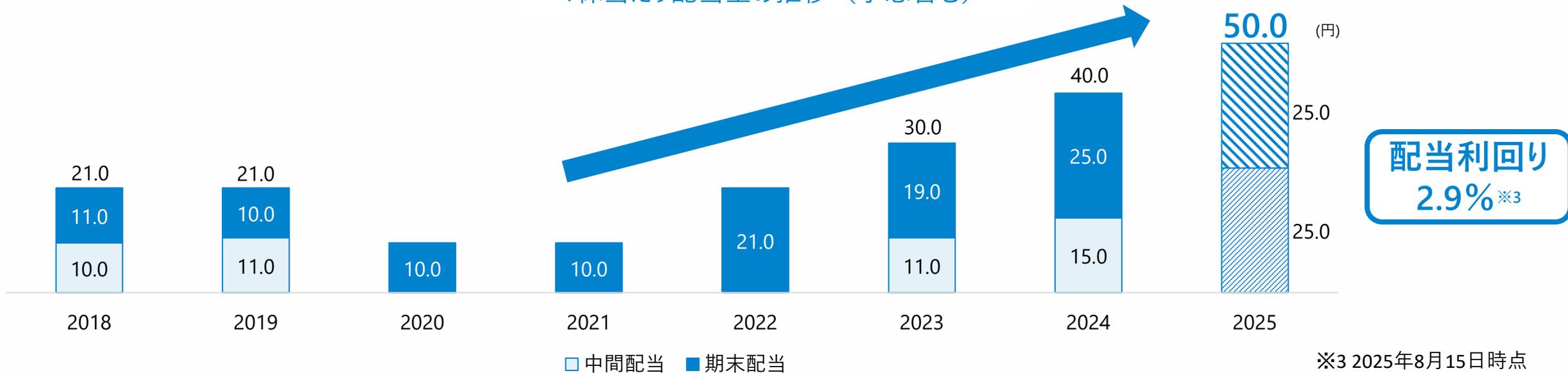
基本方針
(2023～2026年度)

自己資本比率 **30%** の確保を前提に、2023～2026年度の平均で、連結総還元性向 **40%** 以上^{※1} を目標とした安定的な配当 および 機動的な **自己株式取得**^{※2} を実施

※1 4ヵ年合計総還元額 / 4ヵ年合計親会社株主に帰属する当期純利益額 $\geq 40\%$

※2 2023～2024年度自己株式取得実績：327億円

1株当たり配当金の推移 (予想含む)

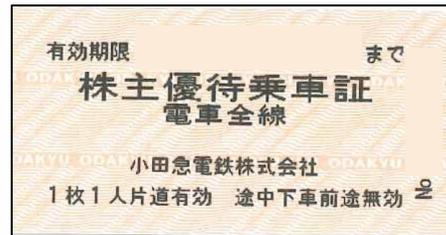


※3 2025年8月15日時点

I	小田急グループの概要
II	成長戦略
	①積極投資
	②人的資本の拡充
III	個人投資家の皆さまへ
	①株主還元強化
	②株主優待制度

500株以上保有の株主さまに
株主優待乗車証と株主優待券冊子（その他各種ご優待）を
年2回（5月下旬、11月下旬）発行

株主優待乗車証 （小田急全線で利用可）

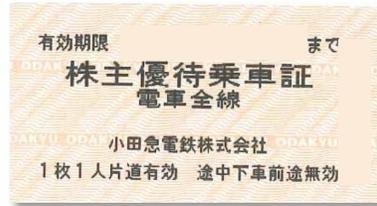


株主優待券冊子 （小田急グループ各施設で利用可）



きっぷ式 (1枚1乗車有効)

500株～



定期券式 (乗り降り自由)

15,000株～

電車全線



30,000株～

電車全線
+
小田急バス



株主優待乗車証を移しかえた
『記名P A S M O』

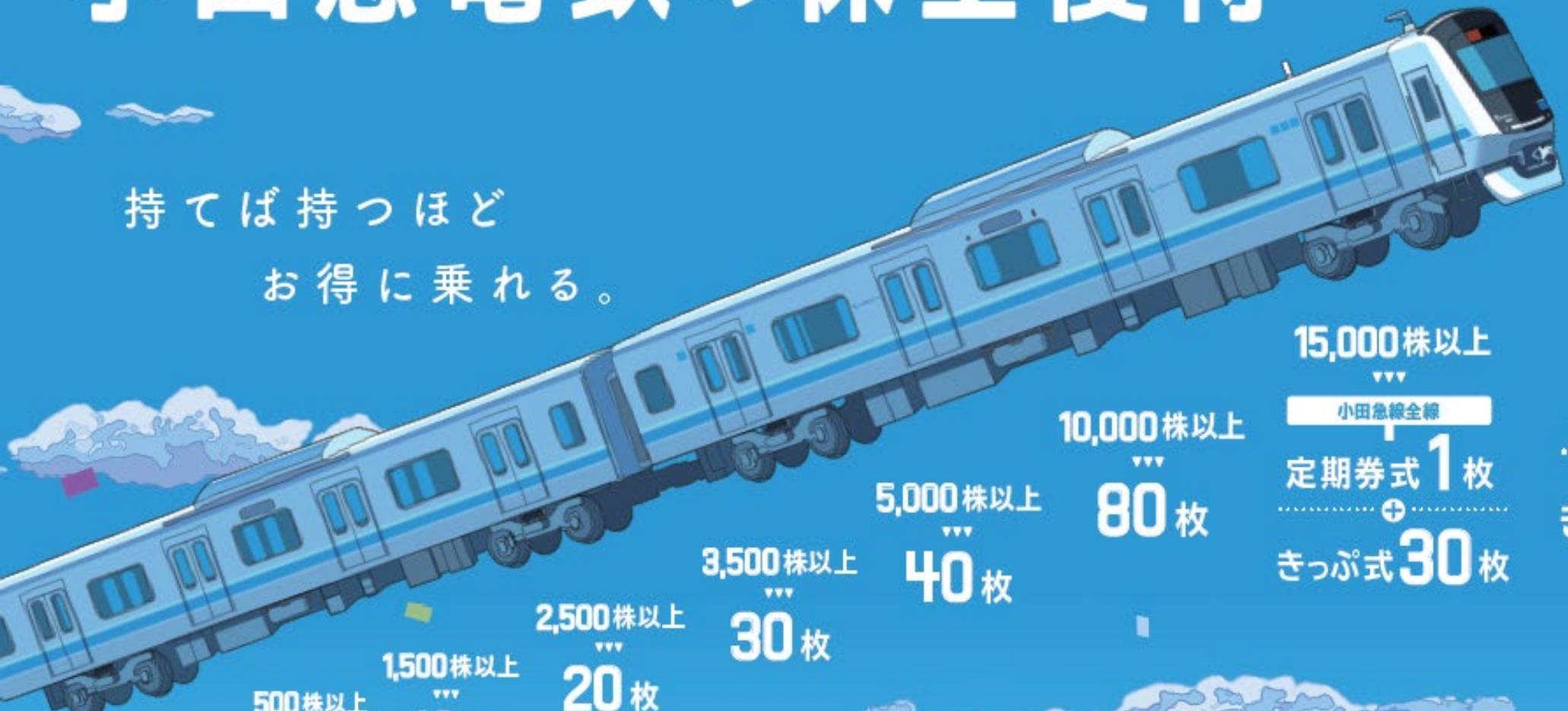


- 株主優待乗車証は、小田急線内でご利用いただけます ※ 図の青線（新宿～小田原・片瀬江ノ島・唐木田）



小田急電鉄の株主優待

持てば持つほど
お得に乗れる。



500株以上
4枚

1,500株以上
10枚

2,500株以上
20枚

3,500株以上
30枚

5,000株以上
40枚

10,000株以上
80枚

15,000株以上
小田急線全線
定期券式1枚
きっぷ式30枚

30,000株以上

小田急線・小田急バス全線

定期券式1枚

きっぷ式30枚

株主優待乗車証：発行基準（半期）

証券コード：9007



- 株主優待乗車証と株主優待券冊子（その他各種ご優待）は、**年2回（5月下旬、11月下旬）**発行します

保有株式数		乗車証の種類			3年以上継続保有 追加枚数	
		小田急線全線優待乗車証		小田急線全線・小田急バス 全線優待乗車証		小田急線全線 優待乗車証
		きっぷ式※	定期券式	定期券式		きっぷ式※
30,000株以上 (①～③より選択)	①	30枚	—	1枚	5,000株以上保有 6枚追加	
	②	60枚	1枚			
	③	140枚	—			
15,000株以上 (①～②より選択)	①	30枚	1枚	—	1,500株以上保有 3枚追加	
	②	110枚	—			
10,000株以上		80枚	—			
5,000株以上		40枚	—			
3,500株以上		30枚	—			
2,500株以上		20枚	—			
1,500株以上		10枚	—			
500株以上		4枚	—			



※ きっぷ式は1枚1乗車有効

ショッピング

【小田急百貨店】 新宿・町田・ふじさわ
10%割引



【Odakyu OX】 沿線中心に32店舗
5%割引



など

ホテル

【小田急ホテルセンチュリーザンター】 新宿
宿泊・レストラン・ラウンジ 割引



【小田急ステーションホテル本厚木】
宿泊割引



など

箱根エリア

【山のホテル、はつはなほか】
宿泊・レストラン・バー 10%割引



【箱根湯寮、木の花の湯ほか】
入館料等200円割引



など

株主優待冊子等（その他各種ご優待）

証券コード：9007



500株以上



マンマパスタ成田店



ビナキッチン（海老名）

ご優待提供施設	ご優待の内容
ジョーレストランシステム各店舗 ・パッパパスタ ・マンマパスタ ・神田グリル 等	ご利用代金10%割引
小田急レストランシステム各店舗 ・ビナキッチン ・そば処 つづらお 等	ご利用代金10%割引
小田急山中湖フォレストコテージ	宿泊料30%割引

さらに

2025年11月発送分より

「箱根そば」かき揚げ天
トッピング無料券 が追加！

※500株以上



15,000株以上

ご優待提供施設	ご優待の内容
藤沢ゴルフクラブ	1名最大2,000円割引
富士小山ゴルフクラブ	1名最大7,270円割引
カレンダーをプレゼント（9月末現在の株主さま対象）	

- 当事業への理解を深めていただくことなどを目的に、年に1回株主さま向け限定イベントを実施しています

ロマンスカーVSE 株主さま向け特別運行イベント（2023年9月）

- ラストラン間近のVSEを株主さま限定列車として特別運行



ロマンスカーミュージアム・海老名 車両基地探検ツアー（2024年9月）

- ミュージアムと車両基地内のガイドツアー、
車両基地内での貸切車両乗車体験を実施



■ 企業価値向上に向けた小田急グループの成長ストーリー



2030年度 連結財務目標	
資本コストや株価を意識した経営	ROE ^{※2} 10% 以上
利益の成長	営業利益 800 億円
財務健全性の確保	有利子負債/EBITDA倍率 7 倍台でコントロール

※1 2025年8月15日時点 (2025年7月 東証プライム有配会社平均利回り：2.5%)

※2 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本 (有価証券評価差額除く)

- 当社ホームページでは、株式に関する情報やインベスターエクスプレス（株主通信）のほか、中期経営計画の進捗状況や、月次営業概況などを開示しています



小田急 IR

検索

< 主な掲載内容 >

- 経営方針・戦略
 - ・[トップメッセージ](#)
 - ・[経営ビジョン・中期経営計画](#)
 - ・[コーポレートガバナンス](#)

ほか

- 株式情報
 - ・[株主優待制度のご案内](#)
 - ・[株主総会関係資料](#)
 - ・[外部評価](#)

ほか

- 業績・財務
 - ・[業績ハイライト](#)
 - ・[財務状況](#)
 - ・[ESGデータ集](#)

ほか

- IRライブラリ
 - ・[決算関連資料](#)
 - ・[月次営業概況](#)
 - ・[有価証券報告書](#)
 - ・[統合報告書](#)

ほか

- 個人投資家の皆さまへ
 - ・[キーワードで見る小田急グループ](#)
 - ・[小田急グループのあゆみ](#)
 - ・[小田急グループのビジネスモデル](#)
 - ・[インベスターエクスプレス](#)

ほか



株主優待制度に関するお問い合わせは
小田急電鉄（株）総務部 文書・株式担当へ
TEL. 03-3349-2054

注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

なお、特段の記載のないものは2025年3月末時点の情報をもとに掲載しています。